

人工知能が経済にもたらす影響

大分県・大分東明高等学校 2年 藤並 蒼史

人工知能とは、機械が人間のように感知、理解、行動することを可能にするテクノロジーです¹⁾。人工知能の導入によって、仕事の在り方はこれからどのように変わっていくのでしょうか。

人工知能やロボットの発達によって自動化が進み、効率化、少子化、人件費削減などの理由から、これまで人間が行ってきた仕事を機械が代わって行っていくことはほぼ間違いないと思います。今ある仕事が無くなったり変化したりするということです。情報社会であるという点においても、それは必然であるのかもしれませんが。

しかし、全ての仕事が無くなるわけではありません。人工知能ができない仕事、つまり人間の手でしか行えない仕事もあるのです。それはどういった仕事なのか。そのキーワードは「心」だと思います。

それはどういうことかという、「感性」や「感覚」と関わる仕事、また職人技といったものを必要とする仕事が例にあげられると思います。また医療や司法、政治などにおいても、人間の判断や技術が必要になるので該当すると思います。つまり、これらに共通するキーワードは「心」であり、人工知能では行えない高い専門性のある仕事であるといえます。

両親は昔から、
『し(士、師)』がつく仕事に就きなさい。
と、私に言っていました。そういった専門性の高い仕事に就くことが、将来の見通しが非常に難しい現代社会を生き抜くひとつの術になるのだらうと思います。

人工知能が浸透していく中には、様々な課題やニーズも発生します。つまり、人工知能の導入でただ単に仕事が無くなるというわけではなく、新しい雇用を生むきっかけにもなりえるのです。

では一体、どのような仕事生まれるのでしょうか。

人工知能が企業や家庭に普及すると、わからないことやトラブルがあった時、対応するアドバイザーが必要になります。またそのトラブルの原因が故障であれば、修理する人が必要になるし、その際使用する部品を作る人も必要です。また、人工知能を利用して新しい取り組みや起業することも可能です。

21世紀に突入し、凄まじい速さで技術革新が起こっているのです。近未来では人工知能が感情を持つようになり、人間を支配するかもしれないと言われています。大切なことは、人工知能にのみこまれないということ、人間が操っているつもりが逆に操られているということがないようにすることです。

では、人工知能にのみこまれないために、また競争の激しいこの現代社会で生きていくために、何をすればよいのでしょうか。

それはきっと「自分を持つ」ことだと思います。自分の意見を述べたり、自分の得意なことや魅力をアピールしたりするといった行動をとることができるかということですが、そうするには自信が必要で、自信をつけるためにはスキルを磨くことが不可欠です。

例えば、プランニング能力を磨こうとすれば、プレゼンテーションで自分の意見を述べることになるし、企画が認められることがあればそれが自信につながります。

マネジメント能力を磨こうとすれば、取引先との話し合いから、接し方や話術を吸収することができ、信頼を得られた時の達成感は自信につながるでしょう。

また、ソリューション能力を磨こうとすれば、相手の考えや状況を理解しようと取り組み、その難題の解決方法をわかりやすく説明し、実行に移さなければならないので、とても大変であるし、解決できるのか責任も重いですが、難題を解決できた時、大変であった分、より自信につながっていくはずですよ。

これから、人工知能に依存していく中で、人工知能と一緒に働く、生活するという考え方になっていくのではないかと思います。しかしそこで大切なことは、あくまで人工知能はひとつの手段であり、決して人工知能中心になってはならないと意識することです。そう考える根拠としてスマートフォンがあげられます。その便利さから手放せなくなり、いつの間にかスマートフォン中心の生活になってしまう人が増えています。同じように人工知能がスマートフォンのように普及すれば、人は頼りっぱなしで努力を怠るようになり、それが人工

知能による人の支配につながるのだと思います。

人工知能は、人類の発展のために作られた非常に夢のあるものですが、皮肉にも使い次第では身を滅ぼす可能性もあります。人間と人工知能との間にあるべき秩序が崩れた時、人間は進歩することをやめ、経済は衰退していくだろうと思います。人工知能の導入によって雇用が減っていく中で、人工知能の便利さに染まった人間がその社会で生きていくことは不可能です。このまま何も対策しなかった場合の人工知能が経済にもたらす影響、それは怠慢による情勢の悪化であり、今、人工知能やその影響について考える時なのかもしれません。

(注)

1) アクセンチュア「人工知能はいかに経済成長をもたらすのか」

URL <https://www.accenture.com/jp-ja/insight-artificial-intelligence-future-growth>

